

# 令和7年度

## 尼崎市 認知症地域支援推進員活動報告

### 認知症地域支援推進員について

1 認知症地域支援推進員：14名

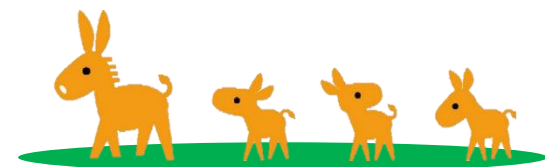
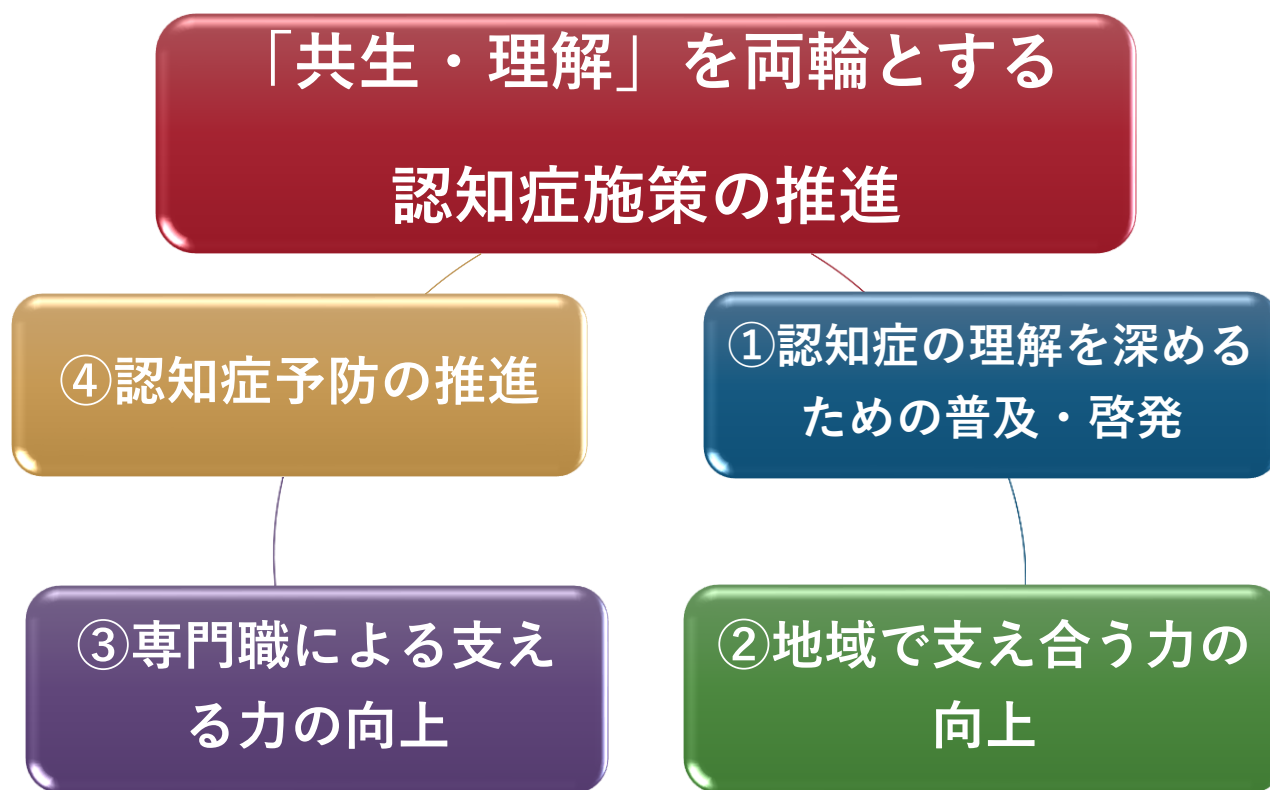
2 認知症地域支援推進員の役割

- ①認知症の人に対し、その状態に応じた適切なサービス等が提供されるよう地域包括支援センター、認知症疾患医療センター等の専門医療機関をはじめ医療・保健関係者、福祉サービス事業者や認知症サポーター等、地域において認知症の人を支援する関係者の連携を図ること。
- ②地域の実情に応じた認知症の人やその家族等を支援するための相談支援や、支援体制を構築するための取組を行うこと。
- ③事業実施に関する企画および調整を行うこと。

報告者氏名：認知症地域支援推進員（全員）

# 尼崎市 認知症施策全体図

【尼崎市 第9期高齢者保健福祉計画の取り組み（認知症関連）】  
認知症の正しい理解が進み、早期発見、早期対応につながるよう、また、認知症の人やその家族が安心して、できるだけ住み慣れた地域で暮らすことができるよう、次のように取り組みます。



# 尼崎市における認知症施策の推進

認知症理解の普及・啓発

早期発見・早期対応

地域での支援体制

住み慣れた地域での生活継続



# 認知症サポーター養成講座

**養成者数 約1200人**  
**開催回数 約70回**



## 取り組み

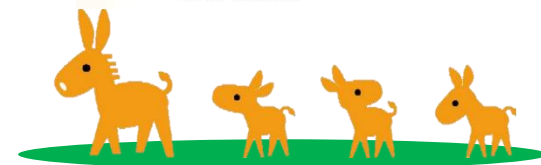
- ・いきいき百歳体操や地域サロン等において、認知症の正しい理解を深めるための講座を開催しました。
- ・地域のケアマネジャーへチラシを配布し、地域住民への周知と参加促進を図りました。
- ・スーパーや医療機関等にもチラシを設置し、幅広い世代への普及啓発に取り組みました。



認知症サポーター養成講座標準教材  
**（認知症を学び  
みんなで考える）**



中央キャラバン・メイト協会の運営



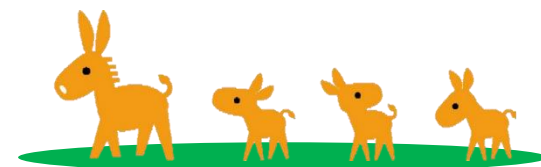
# 不特定多数への啓発活動

## 取り組み

- ・スーパー等の生活に身近な場所へ啓発チラシを設置し、認知症について知るきっかけづくりを行いました。
- ・医療機関において認知症に関する情報提供を行い、早期相談・早期受診につながるよう周知を図りました。
- ・地域イベント等の機会を活用し、認知症についての理解を深めるための啓発活動を実施しました。
- ・シニア情報ステーションを通じて、認知症に関する情報発信を行いました。

## 目的

- ・認知症を身近な問題として考えてもらうための理解促進
- ・早期相談・早期受診につながる環境づくり
- ・地域全体で認知症の人や家族を支える意識の醸成



# 認知症カフェの取り組み

## 取り組み

- ・市内で開催されている認知症カフェの情報を整理し、開催場所や日時などを一覧化しました。
- ・関係機関や地域住民へ情報共有を行い、参加しやすい環境づくりを進めました。
- ・認知症の人や家族が地域の中で安心して交流できる場として周知を行いました。

## 目的

- ・認知症の人や家族が気軽に参加できる居場所づくり
- ・地域の中でのつながりの維持
- ・孤立予防や相談機会の確保

## 期待される効果

- ・当事者や家族の安心感の向上
- ・地域住民の理解促進と支え合いの意識づくり



市内約40か所で認知症カフェ  
が開催されています



# 参加者の声



認サポ参加者

- ・認知症について正しく理解することができ、身近な問題として考えるきっかけになった。
- ・認知症の人への接し方を学ぶことができ、地域で見守ることの大切さを感じた。

- ・この場にこれただけでありがたかった。全部話しました。
- ・話ができてよかった。一人じゃないと思った。気分転換になった。



カフェ参加者



当事者家族

- ・この会は本当に勉強になる。他の方の話を聞くと「自分はまだマシかも」と思えることもある。
- ・介護することは本人に寄り添うことが大切 だけど自分を失わないでいかに環境を整えるかが大事



# 誰もが安心して暮らせる地域を目指して



- 認知症は、誰にでも起こりうる身近なものです。高齢化が進む中で、地域全体で理解を深めていくことがますます重要となっています。
- 認知症を「わがごと」として捉え、正しい知識を持つことが、早期発見や早期対応、そして安心して暮らし続けることにつながります。
- 今後も、認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関と連携しながら、地域で支え合うまちづくりを進めていきます。

